

看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

指導者さんに見てもらおう！

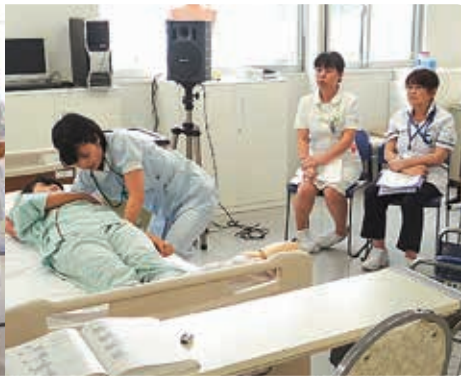
看護教育～学校と病棟が連携して学生を育てる～

今年度初の「指導者さんに見てもらおう」を6月18日に開催しました。「指導者さんに見てもらおう」とは、病棟で学生に実習指導をしていただく実習指導者を学校にお招きし、学生の看護技術を実際に見てもらい、実習指導者の経験知を

教えてもらうという機会です。今回は、1年生の車椅子への移乗・移送の技術です。開始早々、1年生は緊張した面持ちでしたが、少しずつ慣れ、実習指導者の方々へ質問したりして楽しい雰囲気の中で指導を受けることができていました。



指導者さんに見てもらいながら実施するのは少し緊張！



技術を見てもらって指導をいただきました



会の最後に指導者さんへお礼の言葉を伝えました



教えてもらったことを忘れないように記録中

車椅子の移乗・移送の授業とは

授業担当教員 世木 幸雄

この技術は、生活援助技術演習という授業科目の中の、活動休息援助技術の単元で学んでいます。

授業の中では、①人間の自然な動きを理解し、効率的で安楽な動きを作り出す技術を学ぶ、②日常生活に支障をもった対象者に対して安全・安楽を考えた生活援助技術を学ぶ、③臥床状態から車椅子までの流れを理解し、安全・安楽な車椅子の移乗・移送が実施できる、という目標を設定し、学生が知識と技術を身につけていけるよう教授しています。

私自身、看護学生時代の看護技術の実施時には、自分の手技にのみ集中し、精一杯な状況がありました。その反省から、学生には体験から感じたことを大切にもらいたいと考えています。授業の中では自分なりの看護技術ワークシートを作成し、看護技術を実践した後、看護師役・患者役・観察者役の視点からふり返っています。そのふり返りをクラス内で発表し、教員が体験の意味付けを行うことで、自分の技術を客観的に把握することができると思っています。

以上を踏まえて、看護技術の研鑽をはかれるような授業を目指しています。

指導者

「指導者さんにみてもらおう！」 に参加して

実習指導者 4階南病棟

「指導者さんに見てもらおう」に参加し、学生さんたちに教えながら、私たち自身も車椅子移乗・移送の技術の基本に戻って考えることができ、とても新鮮な気持ちになりました。学校では看護技術の基本を教え、私たち臨床側は実践知を教える、学校と臨床とが連携して学生を育てるということがとても大切であると感じました。



左：加戸なつみ看護師

右：深田里美副看護師長

1年生

「指導者さんにみてもらおう！」 を体験して

63期生(1年生)

今回の「指導者さんに見てもらおう」を通して学生同士の練習では気付く事のできなかったことを学ぶことが出来ました。自分たちの技術を見てもらい、また指導者さんの技術を見せてもらうことで、患者さんへの言葉遣いや車椅子移乗のポイントがわかり、私たちにとって実りある時間となりました。忙しい中、時間を割いてくださった指導者さんに感謝をし、今回学んだことを今後の実習などで活かせるように学生全員でこれからの学習に取り組んでいこうと思いました。



左：小池 愛莉

右：田中 麻衣

小学生 中学生 高校生

夏のオープンスクールの のお知らせ

今年の夏も恒例の「夏のオープンスクール」を開催いたします。小学生、中学生、高校生のみなさん、夏休みに看護学生の体験をしてみませんか！

【日時】平成27年8月1日(土)

●午前の部(9:00～11:30)

…小学5・6年生、中学生対象

●午後の部(13:00～16:30)

…高校生対象

【場所】浜田医療センター附属看護学校

【内容】沐浴体験、マッサージ体験など

※詳細はホームページをご覧ください



【お問い合わせ先】

浜田医療センター附属看護学校

島根県浜田市浅井町777-12 ☎0855-28-7788

●学校ホームページからお申込みできます

<http://www.hamakan-nh.jp/>